

Hongwanji Buddhist Mission of Australia

シドニー本願寺報

732 Pacific Hwy, Gordon, 2072
PO Box 292 Lindfield (Sydney)
N.S.W. 2070 AUSTRALIA
Phone : (02) 9403-1256
Email : hbma@optusnet.com.au
http://www.hongwanji.com.au



今年の花祭りをお勤めしました！ 4月7日(日)



花まつりにお参り下さった皆さん、(前列左から) 徐秀珍さん、渡部開教使、デビッドソン・ジルさん、(後列左から) 渡部頌君、フオン・ノーマンさん、陳俊霖さん、王・上野理佳さん、平野由紀子さん、ニュートン・アシュリー&泰子さん、デビッドソン・ピクターさん、シャーマン・ジョナサンさん、渡部由信君、三井綾子さん。(07/04/19)



4月7日の日曜日、開教事務所にて、お釈迦様がこの世にお生まれになられたことをお祝いする「花まつり」の法要を、今年は15人の皆さんと共に、賑やかに勤めすることができました。

この日、キャンベラから参加し、英語の法話をする予定になっていたマーク・ヒルズミス師は健康上の理由で残念ながら参加できませんでしたが、この日に話す為に作られた法話をメールで送って下さった

ので、デイビッドソン理事長に代読してもらい、有り難いご縁の一時を結ばさせて頂きました。

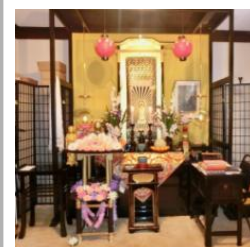
この日、シティで仏具店を営む陳俊霖&徐秀珍ご夫妻がお参り下さったのは有り難いご縁でした。また、初めてお参り下さったシャーマン・ジョナサンさん、ニュートン泰子さんとお嬢さんのアシュリーちゃん、平野由紀子さん、ようこそお参り下さいました。



開教事務所入口の案内板(07/04/19)

お彼岸が終わっても暑い日がありましたが、法要当日は清々しい一日となり、法要日和となりました。

午前11時から始まった法要では、お参り下さった皆さんを歓迎する開式の言葉の後、まずは英語で『ルンビニの園』を合



花祭り用に荘厳されたお内陣(07/04/19)

唱。それに続いて、三帰依をあげ『十二礼』のお勤めを致しました。そして参拝者が順に、お焼香をした後、綺麗に荘厳された花御堂の中に右手を挙げ、左手で地面を指差し、堂々

(2ページへつづく)

5月19日(日) 降誕会 & 年次 総会 午前11時より

親鸞聖人の誕生を一緒に祝いましょう。またHBMAの将来を決める大切な総会への出席もよろしくお願ひ致します。
(お斎の一品持ちよりよろしくお願ひします!)

もくじ

はなまつり	1-3
お寺の予定表	1
花祭り法話	2
今月のことば	3
リズモア10周年記念平和式典	3-4
スリランカ追悼	4
西ゴードン小 花祭	4
ようこそ/祥月	4
ご 懇 念 録	4

★ お寺の予定表 - Calendar ★

May	5 (Sun)	11:00 am	五月祥月法要/May Shotsuki Memorial
	11 (Sat)	3:00 pm	南天寺主催ウェサク祭 Vesak Celebration @ Tumbalong Park, Darling Harbour
	12 (Sun)	11:00 am	日曜礼拝/Sunday Service
	19 (Sun)	11:00 am	降誕会&年次総会/Gotan-e & HBMA AGM Please bring one dish! お昼はポットラック
	20 (Mon)		〔本願寺報発行 / New Bulletin Issue〕
	26 (Sun)	11:00 am	日曜礼拝/Sunday Service
	29 (Wed)	5:00 pm	IFTER Dinner at St Mary's Cathedral
Jun	2 (Sun)	11:00 am	六月祥月法要 / June Shotsuki Memorial Service
	9 (Sun)	11:00 am	日曜礼拝/Sunday Service





『…この羊飼いのように、何も持たずとも心はいつも周りの自然や人によって満たされ感謝し、常に幸せであると感じられるならば、何と素晴らしいことでしょう。…』

(法話より)



内陣のお荘厳



花祭りのご案内

と立つ誕生仏に甘茶をおかけする「灌仏(かんぶつ)」が行われました。子供たちはもちろんのこと、参列した大人も一番楽しみにしている瞬間です。とても緊張した中にも、わくわくしながら杓子を手優しく誕生仏に甘茶を注いでいました。大変微笑ましいひと時でした。

花まつりは、お釈迦様がこの世にお生まれになったことを喜び祝う、いのちの祭典の日です。一人一人が灌仏を行い、命の喜びをかみしめたことでした。



法話はまず子供たちにお釈迦様の生まれたときにいったいどんなことがあったかについてお話ししました。続いているマーク師からの英語法話では、蓮如上人のお手紙から多くの言葉を引用して阿弥陀仏の私たちにかけている願いを分かりやすく紐解いて下さっていました。(英語面参照)

そして日本語法話では**真の幸福感とは?**と題して、一つのお話しを紹介致しました。



— 昔々、あるところに、一人の王様がいました。何不自由な生活をしていましたが、少しも幸福感を感じたことがありませんでした。そこで、国中の物知りの学者や知識人を集めて、幸せになる方法を色々と尋ねて、彼らから言われたことを一つ一つ試してみましたが、なかなか幸せを感じることができません。そんな中で、一人の学者がうやうやしく王様の前に進み出て申しました。

「王様、私が思いますに、国民の中から今幸せ一杯に生きている人を見つけ出して、その人の来ているシャツを貰って着てみては如何でしょうか。そうすれば王様も幸福感を得られるのでないかと信じます。」

それを聞いて、王様は、ではそうしよう、ということになり、その日から家来達は国中から幸福そうに暮らしている人々を探し宮殿に集めました。ところが、一人一人に尋ねてみるとその人達は幸せそうには見えても、皆どこか満たされないものを持っていて、条件に合う人が見つかりませんでした。簡単には、幸せのシャツを着ることができません。



灌仏をするピクターさん(上)と頌君(下)。



マーク師の法話を代読するデイビッドソン理事長

ある日のこと、王様が狩りをするために出かけたところ、ある丘の上で見るからに楽しそうにしている一人の羊飼いの少年に出会いました。その少年の表情やしぐさを見てみると、思わずこちらまで幸せな気分になってしまいうくらいでした。王様は今度こそはと思いながら、この少年に尋ねました。

「小さき羊飼いや、お前は幸せか？」

声をかけられた少年は、とても落ち着いた口調で、かつ王様に敬意を払いながらこう答えました。

「はい王様、私は大変幸せでございます。お日様はこうして照ってくれますし、羊たちはよく私の言うことを聞いてくれます。また、ここの村の人たちも、いつも私にとっても親切にして下さいます。本当に幸せいっぱい毎日暮らしさせてもらい、私はもう言うことがございません。」

ついに探し求めていた人を見つけ出した嬉しさを隠しきれないまま、

「それはいい！幸福感に満ちあふれた小さき羊飼いや、是非ともお前のシャツを私にくれはしまいか？」

と頼み込んできた王様に少年は答えました。

「王様、私は貧しくてシャツをもっておりません」

本当の幸せは、目に見えるモノの豊かさの中にあるのではなく、自分の心の持ち方の中にある、ということをお話は私たちに伝えていきます。如何にお金持ちで地位の高い人であっても、それを幸せと思わず常に自分の満たされていないところばかりを見ているならば、その人は不幸な人であると言えます。それに引きかえ、この羊飼いのように、何も持たずとも心はいつも周りの自然や人によって満たされ感謝し、常に幸せであると感じられるならば、何と素晴らしいことでしょう。言い換えるならば、幸せはそれを信じる人にはやってくるものですが、疑う人にはいつまでもたっても得ることが出来ないものと言えます。

お釈迦様の生きた時代にも、色々なことで悩み苦しんでいる人々が沢山いました。そうした人々を見て、お釈迦様は彼らが幸せに生きる道を説き明かし人々の心に暖かい灯を分け与えて行かれたのでした。お釈迦様の教えは今を生きる私たちにも幸せに生きる道を示して下さいなのです。

この花祭りの今日、お釈迦様がこの世にお生まれになられた事に今一度感謝し、喜びを分かち合いたいものと思います。

お参りの最後には『花祭り行進曲』を全員で歌い、この日の法要をつつがなく終えることができました。

(3ページにつづく)

そして、待ちに待ったお斎(とき)の時間、お参りされた皆さんが持ち寄って下さったお料理を美味しく頂きました。この紙面を借りましてお料理を持って来て下さった、デイビッドソン夫妻、三井ブラウン綾子さん、陳俊霖&徐秀珍さん、フォング・ノーマンさん、平野由紀子さん、ニュートン泰子さん、シャーマン・ジョナソンさん、王(上野)理佳さん、そして家内の由紀美へお礼申し上げます。ありがとうございました。



皆様、美味しいお斎をご用意頂き有難うございました！(07/04/19)



今年の花まつりに参拝して下さいました一人一人の皆様へ今一度深くお礼申し上げますとともに、皆様のお陰をもちまして、今年も無事にお釈迦様の誕生日をお祝いすることができましたことを、感謝申し上げます。本当にようこそお参り下さいました。

合掌

オーストラリア開教事務所長 渡部重信



リズモアでの10周年記念平和式典に参列



平和を願い読経する渡部開教使(24/04/19)

今年もAnzac Dayの前夜と当日にかけてNSW州北部のリズモア市で開催された、平和を願う非営利団体「RaH (Remembering and Healing)」の主催する10年目を迎える平和式典に参列して参りました。リズモアは多くの迫害を逃れて難民としてオーストラリアにやって来て住み始めた世界中からの方が集う世界に開かれた平和の街として、奈良の大和高田市とオーストラリアで最初の姉妹都市提携を結んだ街として名を知られています。

24日は、聖アンドリュー英国国教会にて午後5時半からジェニー・ドーウェル前リズモア市長の司会により式典が執り行われました。最初に、アボリジニーの代表者としての教会の駐在牧師からの歓迎の辞が述べられ、引き続きRaHの良き助言者であるポール・グリーン神父からのメッセージが紹介されました。そしてRaHのサビーナ・バルトルウェイト代表から10年を振り返ってのスピーチがあり、尺八演奏、市民合唱団の歌の後、私から平和を願う読経を今年もあげさせて頂きました。そして、最後は参列者が一人一人、壇上のキャンドルに献灯し無事初日の式典を終えることができました。



左からドーウェル元市長、サビーナRaH代表、渡部開教使(24/04/19)



市庁舎での読経(25/04/19)

翌25日のセレモニーは、リズモア市庁舎内一階のファウンテンルームにて午前11時から執り行われました。今回はサイモン・クロウ氏の司会進行の下、「Valuing Peace on Anzac Day」と題し参加者が自由に平和についての思いを述べる形式で行われ、その最初のオープニング役として私から読経と平和のメッセージを述べさせて頂きました。

戦争を知る世代も、若い世代もそれぞれがAnzac Dayを迎えるにあたり戦争の悲惨さ、無意味さ、そして平和の大切さを発表し、午後1時前にギタリス

今月のことば

しんじつ
しんじん
眞実の信心は

かならず

みようごう

名号を具す

《顕浄土眞実教行証文類 信巻》



親鸞聖人(1173年-1263年)

“True and real
entrusting to Amida
is unfailing
accompanied by
saying the Name.”

《The True Teaching, Practice and
Realization of the Pure Land Way》
by Shinran Shonin(1173-1263)



真宗教団連合刊

「2019年 法語カレンダー」より

トのリードでジョンレノンの「イマジン」を参加者全員で歌って散会となりました。

これまで10年に渡り、この式典を主宰しているサビーナさんに祝意を述べるとともに、2日間に渡り集ったのべ150人超の参加者に心からのエールを送ったことでした。この地球上に争いのない平和な日々が訪れることを心より念じたことでした。 合掌 渡部重信

聖メアリー大聖堂でスリランカの犠牲者を悼む



フッシャー大司教と

4月26日の夕方5時半より、シドニー市内の聖メアリー大聖堂にて、イースターの日曜日に起こったスリランカでのテロ事件犠牲者を悼み、追悼のミサが行われ、それに引き続き、超宗教による献灯式が行われ、仏教徒を代表して参加して参りました。



西ゴードン小学校で花祭をしました！



スクリプチャークラスで灌仏を行いお釈迦様の誕生をお祝いしました。

渡部開教使が、スクリプチャークラスで仏教を教えている西ゴードン小学校で、一学期最後の授業の4月10日に、クラスで花祭を行いました。誕生仏の周りに生徒達が描いたマヤー夫人が王子を出産された時の塗り絵を並べ、その前で、仏教の三宝、仏法僧を敬う読経をした後、生徒達が順番に灌仏を行いました。生徒達みんなの心に残る授業であったことと思っています。 合掌



New Member 新会員紹介 ようこそ！
オーストラリア開教事務所へ
Welcome to HBMA!

静 藤雄 さん
シドニー在住



これから一緒にお参りを通じて、阿弥陀様の本願のお願いを聴聞させて頂き、感謝のお念仏の中でみ仏の呼び声を聞かせて頂きましょう。ようこそご縁に出遇って下さいました！



五月の祥月法要

May Shotsuki Memorial Service

Iriguchi, Kumao

入口 熊男 様 (1979)

上記の方が5月に祥月を迎えられます。ご家族、或はご縁のごぞいます方は、来月5月5日の午前11時より厳修されます祥月法要にどうぞお参り下さいませ。

ご 懇 念 録

Expression of Dana/Gratitude



この一ヶ月間で、下記の皆様より総計 1,132.00ドルのご懇志をご進納いただきました。また、お賽銭箱に、計12ドルが浄財として参拝者より喜捨して頂きました。この浄財は本願寺設立基金へ進納されました。有り難うございました。 合掌

In the past month, donations to the amount of \$1,132.00 were offered to the Amida Buddha through the Hongwanji Buddhist Mission of Australia. HBMA members and attendants have also deposited \$12.00 in the donation box. The HBMA acknowledges the donors and would like to express our sincere gratitude to the following for their generous donations: :

- * Ms Hiroko Okuyama — Membership pledge (One year)
- * Mr Fujio Shizuka — Membership pledge (3 months) **New Member!**
- * Ms Ayako Mitsui-Browne — Donation & Osaisen
- * Mr Michael Chen — Special Donation
- * Mr Shigeki Iikura — Membership pledge
- * Mr Jonathan Shearman — Special Donations
- * Chanting CD sold
- * Japan Club of Sydney — Printing Honorarium

Thank you very much in Gassho





BULLETIN



**Rev Watanabe invited to join
Remembering and Healing
10 Years Anniversary
All inclusive, Multi-faith and Multi-
cultural Service for the Anzac Day
Eve & Anzac Day in Lismore
24&25 April 2019**



Rev Watanabe extending his
peace message after his
Chanting for Peace. (24/04/19).

Rev Watanabe was once again invited to participate in "Remembering and Healing" - the Multi-faith and Multicultural service for Anzac Day Eve and Anzac Day in Lismore, NSW.

This peace event is always organised by Remembering and Healing (RaH) Inc. and our friend Ms Sabina Baltruweit was chairperson.



St Andrew's Angli-
can Church where
Anzac Eve ceremony
took place. (24/4/19).



hundred people present on that evening.

On the following day, Anzac Day, the ceremony took place in the Fountain room of the Lismore City Hall.



In the Fountain Room of the Lismore City Hall, everyone sit on
chair in circle and participated in talk about peace. (25/04/19)

This Anzac Day gathering started right after the official ceremony in Town which was 11 am sharp. The gathering was started after Rev Watanabe's chanting and message. Everyone sat on chairs forming a big circle in the room. Anyone could speak up about Anzac Day, War and of course peace. After most of the participants spoke, we sang "Imagine" all together lead by a guitarist. Everyone had really meaningful and enjoyable time. After the ceremony we all watered the "Tree for Peace". We all hope that we can create a peaceful world without any conflicts and wars.

In Gassho,



Rev Watanabe, Sho,
Ami and Sabina.
(25/04/19)

Rev Watanabe attended a
Sri Lanka victims' Memorial gathering at St
Mary's Cathedral (26/04/19)



Most Reverend Anthony Fisher OP, Archbishop of Sydney invited religious leaders from

the Sydney area to a Candlelight Vigil in St Mary's Cathedral Forecourt, in the Cathedral at 5:30pm on Friday 26 April, following the Memorial Mass for persecuted Christians and the people of Sri Lanka. As one of the representatives of Buddhists, Rev Watanabe participated in this ceremony together with Ven Miao You, from Nan Tien Temple and Ven Bhante Sujato from Santi Forest Monastery, commemorating the all the victims who lost their lives in the terror attacks on Sunday 21 April. In Gassho,



Hundreds of the Sri Lankan
community people gathered for
this commemorative event at
the St Mary Cathedral.



Welcome to HBMA !

New Member

Mr Fujio Shizuka

Sydney, NSW



We hope you will enjoy the life of Nembutsu, and listening to the Dharma. Please try to share our wonderful teaching of the Nembutsu with everyone you talk to. In Gassho,

out the essentials of the Jodo Shinshu teachings again and again, and if we pay attention then eventually 'the penny will drop' and any bonbu will be able to understand. Here he is repeating the message of the previous quote, and is pointing out that intellectual knowledge - being told something or reading something - is not the same as experiential knowledge. We bonbu may of ourselves be incapable of prajna -



Rev Mark Healsmith
(08/04/18)

enlightened insight - but true entrusting is the Tathagata's mind given to us. It is that, and not simply learning about the Tathagata's Vow that ensures our birth in the land of bliss.

What is important here though, is not to 'lose sight of the forest for the trees.' We must not become lost in the vast and wonderful teachings of Shakyamuni Buddha nor in the commentaries and philosophical explorations of generations of learned monks. We must not lose sight of the Pure Land teachings. There is no problem with being intellectually curious and enjoying reading Buddhist scriptures and commentaries, but we need to always keep in mind the teachings of our compassionate masters in the Jodo Shinshu tradition, such as this, again from Rennyo Shonin.

'Those who are not concerned about their afterlife are considered to be ignorant persons, even though they may be well versed in eighty thousand Dharma-teachings; those who have resolved the matter of the afterlife are described as wise persons, even if they are illiterate laymen or laywomen. So it is said.'

'Therefore, in our tradition we should know that for those who study various scriptures and are knowledgeable about Buddhism, all is in vain if they are ignorant of the single thought of entrusting.'

Letters of Rennyo No.20 p77

Whatever knowledge of the Buddhadharma, or of other matters, that we may acquire, the point is, what are we looking for? If we are not looking to resolve the great matter of birth and death then our knowledge will not help us. No amount of learning will stop us from being bonbu - foolish beings full of karmic evil and incapable of following the path of the sages to complete enlightenment. We bonbu must find and accept the Pure Land teachings, say the nembutsu and experience the 'single thought of entrusting' - that is, shinjin. Then the great matter of birth and death is settled. Rennyo Shonin makes it clear.

'Settled mind in our traditional lies in discarding the inclination toward various practices and entrusting yourselves single-heartedly to Amida Tathagata, without having to worry about your deep karmic evils and hindrances. You should not have the slightest doubt that the sentient beings who seriously rely on

Amida for resolving the matter of the greatest importance of the afterlife will all be saved.'

Letters of Rennyo No. 15 p61

I could quote Rennyo Shonin again and again making essentially the same points, but I will end with one last quote that exemplifies the directness of the teachings, but also their trans-temporal, ineffable wonder.

'Since such great virtues are directed to us who entrust ourselves to Amida with singleness of heart, all our karmic hindrances and evils committed in the three periods - past, present and future - will be eliminated at once, and thus we dwell in the stage of the truly settled, or the stage equal to perfect enlightenment.'

Letters of Rennyo No. 23 p87

How wonderful this is. My gratitude knows no bounds.

Namo Amida Butsu.
Rev Mark Healsmith



Rev Watanabe teaching the Buddhist Scripture Class at Gordon West Public School

We had our last scripture class of the Term 1 on 10 April and the day was close enough to the Buddha's birthday, so we celebrated Shakyamuni Buddha's birth at the Gordon West Public School!

Rev Watanabe brought the statue of



Baby Buddha and after we read a passage from the book which describes the day Buddha was born. The Baby Buddha statue was surrounded



by coloured pictures of Lumbini Garden drawn by all the students! And we all took in turn bathe the Baby Buddha which made everyone so happy!

In Gassho,



(From page 1)

2019 Hana-Matsuri message



BULLETIN

After the service, we all enjoyed a variety of food prepared by those who had attended. Much appreciation from HBMA goes to **Mr/Mrs Victor & Gill Davidson**, **Ms Ayako Mitsui-Browne**, **Mr & Mrs Michael Chen** and **Jennifer Hsu**, **Mr Norman Fung**, **Mr Jonathan Shearman**, **Ms Yukiko Hirano**, **Ms Yasco Newton**, **Ms Rika Ueno-Wong**, then finally to my wife **Yukimi** for the delicious food for lunch!

I believe that without all of these people's support this year's Hana Matsuri service would not have been so successful.

Everyone enjoyed delicious Otoki Pot-luck-lunch prepared by all attendants (07/04/18).

Thank you very much for your support!

In Gassho,
Rev Shigenobu Watanabe



(top) Ms Ayako Mitsui-Browne,
(centre) Ms Rika Ueno-Wong and
(bottom) Mr Michael Chen are
bathing Baby Buddha.



The following Dharma talk was written by **Rev Mark Healsmith** for the Hana Matsuri service 2019.

DHARMA TALK for Hana Matsuri

7 April 2019

TIME AND RENNYO SHONIN

Sometimes I find myself thinking about time. This is probably partly because as I get older I am - like most people - more conscious of the time that makes up my life that has passed and the lesser amount of time - life - that there remains to me. So be it, and I don't regret the passing of time. It's just that I am not sure I understand time, so I think about it..

The concept of the 'arrow of time' extending in a straightforward manner from the past to the present and on to the future is a utilitarian concept, but like many common sense, useful concepts it is philosophically naive and only a 'relative truth.' I do not claim any deep understanding of the teachings derived from the Avatamsaka Sutra (Kegon in Japanese). However, there is the Kegon teaching of the 'Jewel Net of Indra' which is a metaphor for the realm of reality, that is, for the true nature of reality. We are to imagine an infinitely expansive net in three dimensions, with, at each intersection of the net a jewel in which is reflected every other jewel. Each jewel reflects the totality of each and every other jewel. This is a way of teaching the interpenetration of all phenomena - things, actions, thoughts - everything. Time must be part of the interpenetration, and if so then past and future become meaningless and there is only the eternal everything - the eternal now. At a stretch we can just about grasp

the metaphor. However, we bonbu are incapable of grasping the reality - only an enlightened being, a Buddha - could do that.

The Vows of Amida Tathagata also challenge the naive view of time. Amida's Vows are structured in such a way that there is a causal connection both from the past to the future - our present - and from this present to the past. Each of Amida's vows states that if, when He attains Buddhahood, the vow will be fulfilled, otherwise the Tathagata will not attain perfect Enlightenment. So, Amida's vow power ensures the fulfilment of each vow, but His perfect Enlightenment which makes this happen is only complete because of the actualisation of the vow here and now.

With regard to the 18th Vow, Amida Tathagata's complete enlightenment is assured only because here and now each one of us says his name and ensures our birth in the Pure Land. As with Indra's net each thing reflects every other thing. Our actions now are linked to Amida's vow in the immeasurably distant past and past and present become one, or become meaningless. It is hard to think about this, and, in the end not necessary to do so. There is a lesson to be learnt here though and perhaps Rennyō Shōnin had this in mind when he taught this -



Rennyō Shōnin
(1415-1499)

'... (some) claim that the significance of the entrusting heart is not to forget that Amida Tathagata has settled our birth since he realised enlightenment ten kalpas ago. In such an assertion we find that taking refuge in Amida and attaining the entrusting heart of Other Power is totally lacking.'

Letters of Rennyō No. 11 p45

What I take from this is that it is our practice in the present - saying the Nembutsu and the eternal practice of the Tathagata that gives us His mind and true entrusting - both taking place in the here and now which ensure the fulfilment of the Vow. The Vow was fulfilled ten kalpas ago but also right now in the moment of shinjin and this is beyond our commonplace understanding of time and causation. Simply knowing that Amida Tathagata settled our birth in the past is not enough. We must experience this in the present. This experience is shinjin. Rennyō Shōnin continues -

'Even if we know our birth has been settled since Amida's enlightenment ten kalpas ago, unless we fully realize the entrusting heart of Other power, through which we are to attain birth, we will not be born in the land of bliss.'

Letters of Rennyō No. 11 p45

In his letters, Rennyō Shōnin compassionately points

(Continues on page 3)

BULLETIN

Volume 20 - No. 4
April 29, 2019

Hongwanji Buddhist Mission of Australia



PO Box 292 Lindfield (Sydney)
N.S.W. 2070 AUSTRALIA
Phone : (02) 9403-1256
Mob : 0412 - 396 - 014
Email : hbma@optusnet.com.au
http://www.hongwanji.com.au

Successful Hana Matsuri ! on 7 April 2019



Front row (L-R): Ms Jennifer Hsu, Rev Watanabe, Ms Jill Davidson, Back row : Sho Watanabe, Mr Norman Fung, Mr Michael Chen, Ms Rika Ueno-Wong, Ms Yukiko Hirano, Ashleigh and Yasco Newton, Mr Victor Davidson, Jonathan Shearman, Yushin Watanabe and Ms Ayako Mitsui-Browne. (07/04/19)



HBMA members, supporters and friends gathered on Sunday, 7 April to celebrate Shakyamuni Buddha's birthday, the Hana Matsuri (Flower festival), also known as Kanbutsu-e!

We shared this happiest occasion as Buddhists with members, supporters with many new faces! It was so nice to welcome **Mr Michael Chen** and **Mrs Jennifer Hsu** from **Maha Bodhi Centre**. We also welcomed **Mr Jonathan Shearman**, **Ms Yasco Newton** and her lovely daughter **Ashleigh**, **Ms Yukiko Hirano**, **Ms Rika Ueno-Wong**, and **Mr Norman Fung**.

It always gives us peace of mind to welcome our regular members, **Mr & Mrs Victor and Gill Davidson**, **Ms. Ayako Mitsui-Browne**, my wife, **Yukimi** and children, **Yushin** and **Sho**. Thank you for attending this very important service! We are extremely happy to have children present for this joyous occasion. Thank you **Yasco** for bringing your daughter!



HBMA shrine were beautifully decollated for the Hana Matsuri service(08/04/18).

During the Hana Matsuri service, we celebrate the life of each one of us, therefore each and everyone played an important part in this ceremony.

After chanting the **Three Refuges**, **Ti-Sarana**, and a sutra (**Juni-rai**), each of us took turn offering incense and performed **Kanbutsu** (bathing the baby Buddha with sweet tea)! All of

Inside This Issue

Successful Hana Matsuri (Kanbutsu-e)	1-2
Invitation for Gotan-e and AGM	1
Hanamatsuri message by Rev Mark Healsmith	2-3
Scripture Class at Gordon West Public School	3
NEWS - Lismore / St Mary's / Welcome	4



HBMA's front sign welcoming everyone!



Ms Yasco Newton, bathing Baby Buddha

the children and also all the grown-ups were impatient to perform this ritual. Each person was very intent and serious but came away with a big smile after bathing the baby Buddha!

Our guest speaker, Rev Mark Healsmith, unfortunately was not able to make his trip to Sydney because of his health condition, but he sent us his Dharma message - entitled "**Time and Rennyo Shonin**"-(please read the following article). Our president, **Mr Victor Davidson**, a specialist of reading as a librarian kindly read the message on his behalf. To conclude, we sang "**Hanamatsuri Koshin kyoku**".

(Continues on page 2)



**Shinran Shonin
1173-1263**



Please attend
**GOTAN-E &
2019 HBMA AGM**

11 am ~ Sunday 19 May 2019

Please be sure to come to the Gotan-e service to celebrate Shinran Shonin's birthday. It will start at 11am, and will be followed by the Annual Gen-

eral Meeting.

Those who plan to attend the service and AGM, **please bring one dish for lunch to share**. We hope we'll have a meaningful service and a fruitful meeting. **This is a very important meeting for HBMA, so please make sure to come along on this day.**